SENDAI
STARTUP
ECOSYSTEM

SENDAI

- Capital of Social Innovation -

スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の取り組みと成果について

目次

1. エコシステム形成推進主体について
2. 民間組織の取り組み（INTILAQ、MAKOTO、経済団体等）
3. 大学の取り組み（東北大学等）
4. 地方自治体の取り組み（仙台市等）
5. 都市の環境・繋がりの状況
6. ウイズコロナ、アフターコロナ
7. グローバルを考慮した拠点形成

エコシステム形成推進主体について

拠点形成計画に掲げるKPIの達成状況について（2021年7月時点）

300+ スタートアップ創出（累計）	仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体の支援を通じて大学等の研究成果や技術シーズを活用し、社会課題の解決を目指すスタートアップを300社以上輩出・育成する。	99社
50億+ 資金調達額（2024年）	仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行ったスタートアップの資金調達額の合計額が2024年単年で50億円以上となる。	44億3,024万円
1+ ユニコーン創出（2024年）	仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行ったスタートアップのうち時価総額が2024年時点で1,250億円以上となるユニコーン企業を創出する。	東北大学発1社 clean planet 株式会社クリーンプラネット
400+ 地域企業との協業（累計）	仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体の支援を通じて地域の大企業や中小企業とスタートアップの協業を400件以上実現する。	67件（ビジネスマッチング120件以上）
100+ グローバル（累計）	仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会参画団体が支援を行うスタートアップが海外のスタートアップイベント出展等を通じて海外企業や自治体等との協業を100件以上実現する。	12件
50+ スタートアップビザ（累計）	外国人創業・起業活動促進事業（スタートアップ・ビザ）を活用し、仙台・東北での起業を希望する外国人に対して支援を行い50名以上の起業を支援する。	3名

SENDAI
STARTUP
ECOSYSTEM

2019年12月　仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会設立

Our Goal

仙台・東北から世界を変える「スタートアップ」が生まれ、
世界中からソーシャルイノベーターが集う都市へ
SENDAI - Capital of Social Innovation -

Our Mission

新しい価値を持続的に産み出すスタートアップ・エコシステムを
産官学金労言で構築し、社会課題解決に挑戦する人々と伴走して
仙台・東北における地域課題の解決と地域経済の活性化を実現する。

Target

仙台の強み・特徴を活かしつつ、
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続ける東北のスタートアップ

構成メンバー数

12▶45

発起人団体12団体に加え、新たに東北地域及び新潟県の民間企業や支援機関、ベンチャーキャピタル、自治体、国立大学等33団体が参画し、スタートアップ支援のネットワークがさらに拡大。

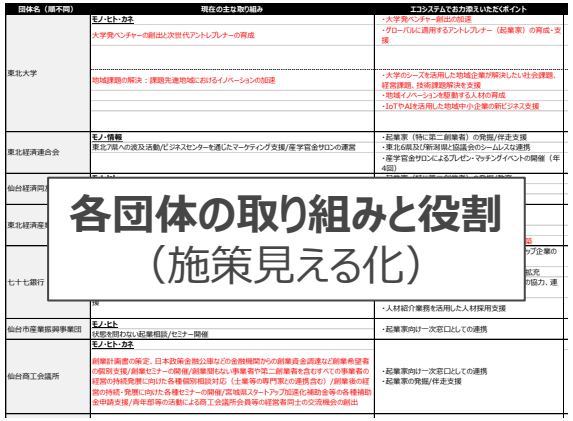
エコシステム形成推進主体について　仙台スタートアップ戦略の策定

▶仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会において、「起業の街・仙台」を戦略的に推進していくための指針となる「仙台スタートアップ戦略（骨子版）」を策定。
▶協議会会員が有する「モノ」・「ヒト」・「カネ」・「情報」等の豊富な支援施策を見える化し、支援者間での課題共有や他都市のキーパーソンを招いた意見交換会等で課題を明確化。
▶会員相互の横連携の強化を進めていくことでスタートアップ企業に対する効果的な支援施策展開を促進。

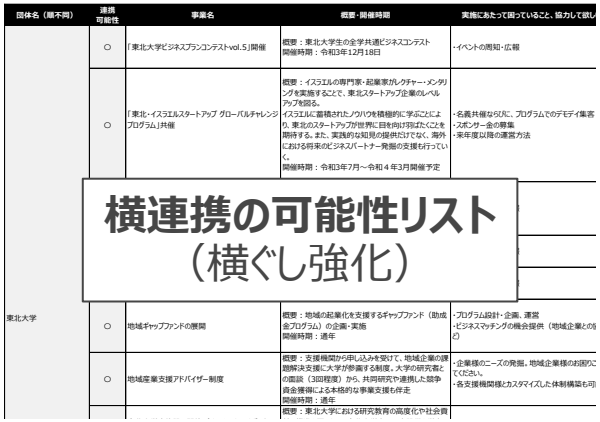
SENDAI STARTUP ECOSYSTEM

仙台スタートアップ戦略（骨子版）

【戦略の内容】　※詳細次頁
・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の目指す姿
・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の戦略
・当協議会が支援する「スタートアップ」像
・スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の支援内容全体像
・各団体の取り組みと役割
・横連携の可能性　など



各団体の取り組みと役割
（施策見える化）



横連携の可能性リスト
（横ぐし強化）

経済的持続性を基盤として社会課題解決を目指す組織の支援を
「大学テーマの事業化・産業化」「社会課題解決に向けたチャレンジ促進」を
大きな方向性として各プレイヤーが密に連携しながら取り組む

仙台・東北から世界を変えるスタートアップが生まれ、世界中からソーシャルイノベーターが集う都市へ
SENDAI - Capital of Social Innovation -

新しい価値を持続的に産み出すｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ・ｴｺｼｽﾃﾑを産官学金労言で構築し、
社会課題解決に挑戦する人々と伴走して
仙台・東北における地域課題の解決と地域経済の活性化を実現する。

当協議会が支援する「スタートアップ」像（詳細次頁）

2パターンの「スタートアップ」創出

- 大学発の革新的技術・アイデアによる創業
- 革新的ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙによる創業・ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ変革を伴う第二創業

大学

地域に存在する社会課題
×
アイデア・ビジネスモデル
大学等の技術シーズ
×
挑戦する人々

方向性①：
大学技術シーズの事業化・産業化

方向性②：
社会課題解決に向けたチャレンジ促進

地域企業
産学連携組織

VC・支援機関などスタートアップに係る
地域経営資源をフルに活用した支援・指導

当協議会が支援する「スタートアップ」像

仙台の強み・特徴（「仙台らしさ」）を活かしつつ、
社会的・経済的インパクトの創出に挑戦し続ける法人・個人

ゴール：「仙台らしさ」がある「スタートアップ」類型への成長

パターン①
社会課題の解決を第一義に展開し、経済的持続性と社会インパクトを備えた「スタートアップ」
(地域企業との事業資本提携・パートナーシップ連携を想定、Dari K・フローレンス等)

パターン②
パターン①のうち特に急成長・急拡大を志向し、地域を超えた、より広い市場を目指す「スタートアップ」
（株式IPO・M&Aを想定、Spiber・クリーンプラネット等）

SIA社会起業家
- （株）幸呼来Japan
- （株）ゆらリズム

東北大学発
- パワースピン（株）
- ボールウェーブ（株）
- （株）RTi-cast

「仙台らしさ」がある
ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ・ｴｺｼｽﾃﾑの推進
（詳細次頁）

継続して達成する目標：
社会的・経済的インパクトの両立

社会的インパクト
- 仙台・東北における地域課題の解決

経済的インパクト
- 仙台・東北における地域経済の活性化

スタート：「仙台らしさ」がある「スタートアップ」の形成

大学発
- 世界に伍する社会ニーズがある技術を元に、産業形成

民間発
- 地域課題の解決しうるテーマに取り組み、志ある地域企業と協業

産学連携
- 民間のニーズ・人財をもとに、大学にある技術を地域内にて開花

創業
- 独自のニーズやアイデアを元に、持続的な経済的リターンを前提とした事業を立ち上げる
（法人格の選択は問わない）

第二創業
- 事業継承元となる企業のアセットを用いつつ、新たに特異な技術やアイデアを組み合わせて経済的リターンを伴う事業内容へと変革させる

スタートアップ・エコシステム拠点都市・仙台の支援内容全体像

本推進協議会では会員の資源を結集することで、
根底となる推進基盤に加えて「仙台らしさ」を元に重点的に施策を行うことにより、
社会課題解決に挑戦する人々との伴走体制を確立する

3階層部分

「仙台らしさ」を踏まえた「スタートアップ」重点施策

- 優良なニーズ・シーズを開花させる産学連携方法の実装、産業を形成しうる技術の実装・産業化
- ソーシャルスタートアップ認定制度（社会的インパクト×経済的インパクト）
- 第二創業に特化したイベントの実施・支援体制の整備
- 東京等のスタートアップから選ばれる都市となるための環境整備、情報発信
- 地域内スタートアップ促進のためのファイナンス手法の開発と強化（ギャップファンド等）

2階層部分

「仙台らしさ」

- 挑戦を続ける新たな杜の都 “The Greenest City” SENDAI
- 次世代放射光施設によるリサーチコンプレックス形成促進
- スタートアップ・ユニバーシティ宣言に基づくスタートアップ創出と起業家人材育成加速
- 産学連携組織として有する創業・第二創業・産学連携へと繋がる豊富な研究・技術シーズ
- 東日本大震災の経験を背景にした社会貢献意識の高まり
- 課題先進地域と言われている東北の中心都市

1階層部分

スタートアップ・エコシステム推進基盤の確立

モノ		ヒト		カネ		情報
地域に存在する社会課題に対応したビジネスモデル アイデア・大学等の技術シーズ イベントによる場作り	×	挑戦する人々	×	多種多様なリスクマネーの供給	×	リアルタイムな情報共有と共通一次対応窓口の開設、リテラシーの向上 「スタートアップ」文化の醸成・ブランドづくりのためのメディア発信力強化

黒字下線：欠落している要素　　赤字下線：大きく欠落している要素

エコシステム形成推進主体について　戦略策定に向けた勉強会・意見交換会等の実施

SENDAI STARTUP ECOSYSTEM

▶勉強会・意見交換会

特定のテーマを対象に、仙台の強みや特徴、他都市の先進的な取り組みの事例共有、課題抽出と意見交換の場として、全18テーマを対象に2020年11月から2021年3月まで勉強会・意見交換会を開催。

▶事務連絡会議（施策検討ワーキンググループ）

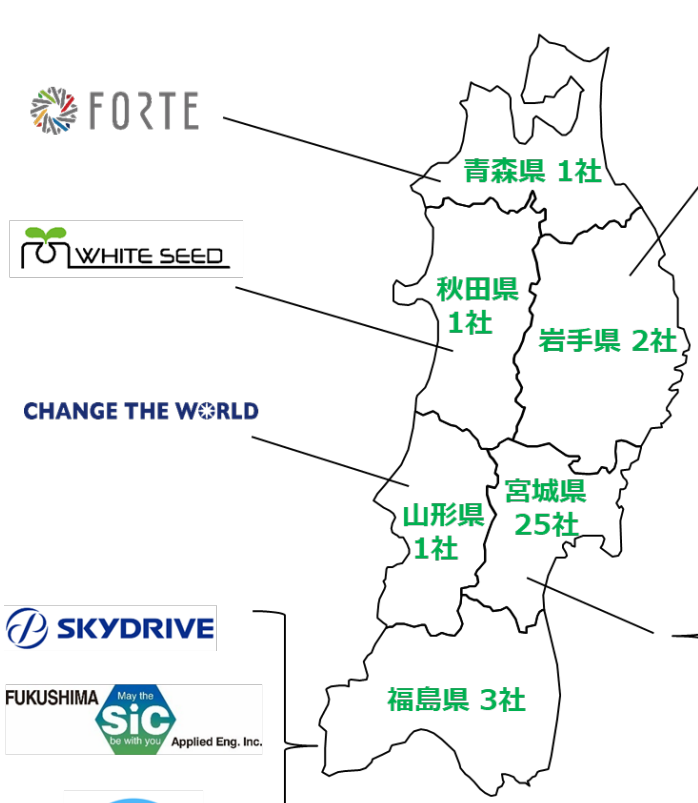
仙台スタートアップ戦略の策定に向け、拠点都市として目指すべき方向を明確化するための議論や、協議会会員が実施する支援施策の共有、エコシステム形成に向けた課題点の整理を目的に、事務連絡会議（施策検討ワーキンググループ）を全8回開催

【勉強会の実施テーマ】
・内閣府　石井様：国のスタートアップ支援関連予算について
・東北大学　柏原様：東北大学のスタートアップ支援の取り組みと課題
・光科学イノベーションセンター　高田様：放射光を活用した地域振興、スタートアップへの期待
・文部科学省　斉藤様：スタートアップ・エコシステム拠点都市でのアントレプレナーシップ教育
・内閣府　和泉様：バイオ戦略、バイオ・コミュニティ施策について
・東北大学　田雑様：東北大学のバイオ関連の取り組みについて
・東北大学　今村様：東北大学の防災関連産業創出の取り組み
・仙台市　荒木田様：仙台市の防災関連の取り組みについて
・IMPACT Foundation Japan 竹川様：東北の社会起業家支援、ｿｰｼｬﾙ・ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝについて
・ドーガン・ベータ　林様：福岡・九州のベンチャーエコシステム
・福岡県　山岸様：福岡県におけるベンチャー支援政策について
・STARTUP KINGDOM　石元様：岡山におけるスタートアップ支援の取り組み
・仙台経済同友会　川嶋様：仙台経済同友会経営リーダーシップ・プログラムについて
・京都市　筒井様：京都市1000年を紡ぐ企業認定制度について
・東北大学　鹿野様：産学連携活動拠点としての東北大学IISセンターの活動について
・仙台市　加藤様：SENDAI X-TECH INNOVATION PROJECTについて
・東北大学　舘田様：ICTを活用した新規事業創出の可能性
・Adansons 石井様：東北大学発AI・DeepTechベンチャーからの事例報告
※所属は登壇当時のもの

東北6県に所在する今後の飛躍的成長やグローバルな活躍が期待できる有力スタートアップ企業を
東北地域の支援者ネットワークを通じて発掘・選定
多様なノウハウ・ネットワーク・リソースを有する地域サポーターズとともにスタートアップを集中支援

J-Startup TOHOKU

33社選定



FORTE
WHITE SEED
CHANGE THE WORLD
SKYDRIVE
FUKUSHIMA May the sic be with you Applied Eng. Inc.
ICOMES gear change your life
ヘラルボニー
SpinSensingFactory
IoT.Run
aiforce solut!ons
TMI Tohoku Magnet Institute
manaby
SND Super Nano Design
Azul Energy
TBA TOHOKU BIO-ARRAY
GoodTreeCo.
zero one
Tripod トライポッドワークス
Blue Practice
Phytochem Products Inc.
RTi-cast
J-BASE
暮らし思うママ BIG MAMA
PowerSpin
Adansons
Wired Beans デジタルコマースソリューション
ONE TABLE
LIFE LABORATORY
Spigno
Co-LABO MAKER
Zenshin
JAMPT

J-Startup TOHOKU
Innovators Gathering & イブニングGathering

▶ J-Startup TOHOKU Innovators Gathering

2021年3月にピッチイベント「J-Startup TOHOKU Innovators Gathering」を開催。

選定企業10社、地域サポーターズ5社がピッチを行い会場内外（オンライン併用）の参加者とのマッチングを促進。参加者66名。

▶ J-Startup TOHOKUイブニングGathering

2021年6月より毎週ピッチイベント「J-Startup TOHOKUイブニングGathering」を開催。

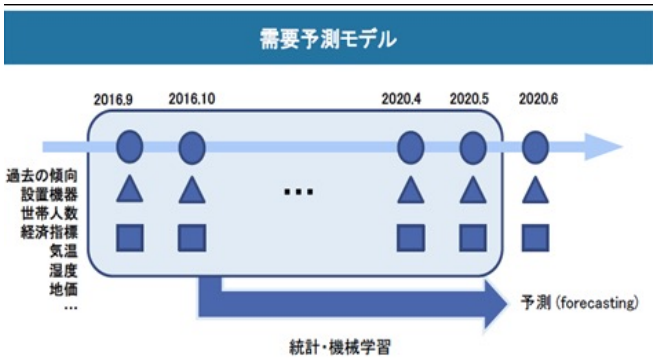
J-Startup TOHOKU選定企業とベンチャーキャピタル（VC）、事業会社等とのマッチングや連携の促進を図ると共に、地域サポーターズとの相互理解を深める機会を創出。参加者延べ142名。

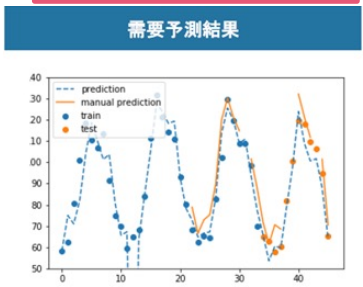
エコシステム形成推進主体について　J-Startup TOHOKU選定企業の活躍

オープンイノベーション

▶株式会社アイオーティドットトラン
・2021年1月　吉野家×Idein主催「牛丼テック」優勝

オープンイノベーション





▶株式会社Adansons
・2021年5月　伊藤忠エネクスホームライフ東北株式会社とのLP ガス需要予測の実証実験に成功。料金体系シミュレーター構築、運用を開始。

IPO

▶株式会社ジェイベース
・2021年2月　東京プロマーケット（TPM）に新規株式公開（IPO）※東北企業では7年ぶり

資金調達　オープンイノベーション

▶株式会社ワンテーブル
・2020年9月　株式会社読売新聞東京本社と株式会社読売巨人軍の協力のもと、オリジナル防災備蓄ゼリー（LIFE STOCK）を開発し発売。
・2020年10月　第三者割当増資による資金調達：調達額4億2,900万円

資金調達

▶福島SiC応用技研株式会社
・2020年9月　第三者割当増資による資金調達：調達額 31億円
▶株式会社ワイヤードビーンズ
・2021年5月　第三者割当増資による資金調達：調達額1億6400万円

エコシステム形成推進主体について　拠点都市指定による好循環

clean planet

仙台未来創造企業

J-Startup TOHOKU

SENDAI FOR STARTUPS!

スタートアップ創出増
資金調達増
協業・実証実験増

ロールモデル企業の輩出
スタートアップ企業誘致

スタートアップ発掘
流入加速

スタートアップ・エコシステム
の発展

他都市・団体と連携した
イベント等実施機会増加

認知度の向上

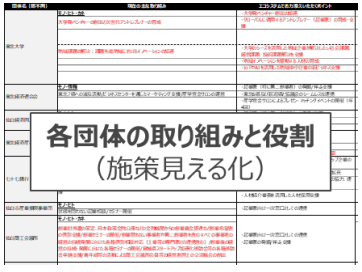
支援者ネットワークの強化

情報発信強化
ニーズ収集効率化
支援者の増加

スタートアップ・
エコシステム
拠点都市選定

イベント・プログラム連携増加
支援施策の見える化

支援者間の連携強化



構成メンバー数

SENDAI STARTUP ECOSYSTEM

12▶45

民間組織の取り組み（INTILAQ、MAKOTO、経済団体等）

▶異業種リーダーシッププログラム
大企業の幹部候補が東北の社会起業家と伴走して社会課題の解決に取り組むリーダー人材育成プログラムを実施。
伴走支援を行った起業家と大企業の共同事業を3件創出。

▶INTILAQ起業家育成事業
東北地域から起業家予備軍を発掘し、先輩起業家や専門家によるレクチャーやメンタリングを実施し創業・法人化を支援。

▶INTILAQ小学生起業体験ワークショップ
小学4～6年生20名を対象に新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しオンラインでの起業家マインド養成講座を実施。商品企画から事業計画作成、資金調達、宣伝企画、決算までの行程を体験。

▶東北プロボノプロジェクト2020
東北の起業家の思いに触れながら伴走する半年間のプロボノプロジェクトを実施。プロボノ受入企業5社。

▶仙台ソーシャル・イノベーション・ナイト
社会課題の解決に向けて、日本・世界で様々な挑戦を行っているゲストが登壇し、起業への想いや困難の乗り越え方など経験を共有するイベントを月1回程度開催。

▶enspace
入居会員向けのビジネス交流会の開催や、スタートアップピッチ、横浜市G Innovation Hub Yokohamaと連携したエコシステム構築に関するトークイベントを開催。

▶EO North Japan
EO North Japanと仙台市が連携し、アクセラレーションプログラム「EO North Japan Quantum Leap」採択起業家13人がプレゼンテーションを行うEO North Japan Lightning talk battleを開催。
オーディエンス賞や仙台市長賞等を提供し、成長をさらに加速させるためのネットワーク構築を支援。

▶東北・イスラエルスタートアップグローバルチャレンジプログラム
東日本大震災から10年の節目を迎えるにあたり、イスラエル大使館と株式会社MAKOTO、JETRO、東北大学、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会が連携し、東北地域のスタートアップ企業に対して、イスラエル人講師によるオンラインセミナー、イスラエル人メンターによる個別指導などの支援プログラムを2021年7月～2022年3月に実施予定。東北から大学の研究成果等を活用した世界に通じるイノベーション創出を目指す。

参加スタートアップ10社

★：東北大学発スタートアップ

炎重工株式会社 HOMURA HEAVY INDUSTRIES
Adansons ★
Azul Energy ★
Mechu
CHANGE THE WORLD
SUSMED
SONIRE THERAPEUTICS ★
BallWave ★
CELLSPECT
aiforce solutions

民間の取組　SPARK! TOHOKU

▶SPARK! TOHOKU Startup Pitch@NTTスマートイノベーションラボ仙台
東北総合通信局、仙台市、会津若松市、郡山市、滝沢市、八幡平市、東北大学、会津大学、Global Lab Sendaiコンソーシアム、EO North Japan、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、情報通信研究機構（NICT）が連携し、起業家万博・起業家甲子園の東北地区予選としてSPARK! TOHOKU Startup Pitchを開催。
学生部門3名、社会人部門9名がプレゼンテーションを行い、NICT ICTメンターの審査の結果、各部門から1名ずつ起業家万博・起業家甲子園へ出場。

学生部門代表の会津大学　谷川尚弥氏が起業家甲子園審査員特別賞を受賞（準優勝）
テーマ：時間や場所に縛られずに衣服のデザインを変えられるデバイス「エレクロ」

【マーケティング・成長戦略支援事業】
東北地域及び新潟県の成長意欲が高い企業に対して東経連ビジネスセンターの専門家チームを編成しハンズオン支援を実施。
・採択企業：㈱アクトラス
・テーマ：医工連携プロジェクト「患者見守りシステム」の普及拡大
～秋田県が抱える課題の解決に向けた取組みから開発された新システムを全国に広める～

支援後の成果：
・2020年10月「メディカルクリエーションふくしま」でのDripixサイト(動画サイト)へのアクセス数
　2020年10月12～18日 536件、2020年10月～2021年5月1,219件
・アクセスを基に医療機関アタックリストを作成、52病院へDMアプローチ→成約病院数　5病院
・見守りセンサ（ハートコール関連）の販売実績　1企業100基
※その他、売買契約の締結準備中

点滴計測通知センサIDC-2501SA『DripiX』

大学の取り組み（東北大学等）

大学の取組　東北大学のシームレスなベンチャー支援システム 【再掲】

SENDAI STARTUP ECOSYSTEM

アントレプレナーシップの育成 → **事業性検証を支援** → **東北大学発ベンチャーへの投資**

アントレプレナーシップ育成プログラム

東北大学に起業文化を醸成するために、学生・研究者向けに多様なプログラムを実施（令和元年度受講者1,323名）

- 企業家リーダー育成プログラム
- ジャパンバイオデザイン東北プログラム
- スタートアップ基礎講座
- e起業塾（e-learning30講座）
- ゼロイチゼミ
- 東北大学ビジネスプランコンテスト ほか

ビジネスインキュベーションプログラム（BIP）

BIP 公募情報
ギャップファンド
マッチングファンド

2013年から開始

これまでに
６０件を支援

（①マッチングファンド、②ギャップファンド）
① 重点 3,000～6,000万円：11件
② 育成 500万円：39件
▶60件（終了40件）中 **18社が起業へ**

東北大学ベンチャーパートナーズ

THVP

2015年2月設立

TOHOKU University Venture Partners Co., Ltd.

第1号ファンド2015年8月組成
（96.8億円、10年）
第2号ファンド設立（2020年10月）
1・2号合計で29社（内 BIP7社）に投資

東北大学スタートアップガレージ（アントレプレナー育成拠点）

東北大学に起業文化を醸成し、2030年までに **東北大学ベンチャーを+100社 創出！！**

- OBOG・アドバイザー陣が協力バックアップ
- コミュニティスペースを常設
  起業を志す仲間と交流
- 起業塾ピッチイベント
- VC・金融機関と連携し資金調達を支援
- 大学シーズと企業とのマッチングを支援
- メンターが起業相談や立ち上げを全力サポート

実績ある本学独自のシームレスなベンチャー支援システムをベースに新たなシステムを構築する

これまでのシームレスなベンチャー支援の取組みにより、東北大学発ベンチャー企業の創出が加速 ➡ 2030年までにプラス100社創出をめざす

東北大学発ベンチャー企業数

145社（2020年度）

全国トップクラスの創出数（第５位）

出典：経済産業省 令和2年度産業技術調査
（大学発ベンチャー実態等調査(2021.5.17)）

国内未上場スタートアップ企業時価総額ランキング

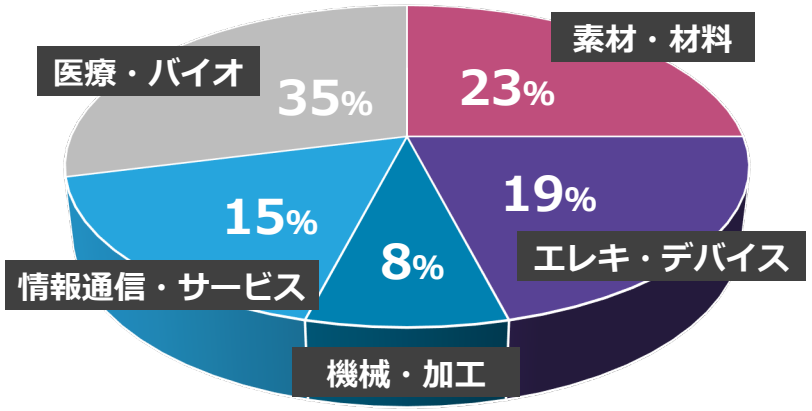
上位20社のうち２社が東北大学発ベンチャー（1社がユニコーン企業）

▶ クリーンプラネット
(新水素エネルギーの実用化研究：想定時価総額2位)

▶ ispace
(月面探査プログラム：想定時価総額17位)

出典： STARTUPDB（2021.3.1時点）

THVP-1号ファンド投資状況（26社）



東北大学の強みである**素材・材料、エレキ・デバイス**等ものづくり企業はもとより、**医療・バイオ、情報通信・サービス**等、多様な業種の東北大学発ベンチャーに投資。

2020年12月28日「クリングルファーマ株式会社」が東京証券取引所マザーズ市場に上場(1号初上場)

事業性検証を支援

これまでに**60件を支援▶18社が起業へ**
（①マッチングファンド、②ギャップファンド）

大学の取組　アントレプレナーシップ醸成のためのイベント開催

▶Falling Walls Ventures Qualifier Sendai
ドイツ・ベルリンで毎年開催されている科学を基礎とした優れたスタートアップのピッチコンテスト出場権をかけた予選会を東北大学が実施。
6社が英語でプレゼンテーションを実施し、リージョナルフィッシュ株式会社COOの石本俊輔氏が優勝。

▶東北インデペンデンツクラブ
起業家とその企業成長を支援するサポーターやインベスターで構成されるベンチャーコミュニティー「インデペンデンツクラブ」にて、東北大学、仙台市、東北大学ベンチャーパートナーズ、MAKOTOが登壇し「東北のスタートアップ・エコシステム推進拠点都市仙台の取り組み」をテーマにパネルディスカッションを実施。大学発ベンチャー企業3社による事業発表会も実施し、参加者とのマッチングを促進。

▶ AgTechアイデアソン ～食農×テクノロジー
東北大学スタートアップガレージと一般社団法人AgVenture LabがコラボしてAgTechに関するアイデアソンを開催。
研究成果を活用した事業開発に向けたアウトプットを行う機会を創出。

▶ 第一生命×NTTデータ×東北大学アイデアソン
第一生命、NTTデータ、東北大学が連携し、アントレプレナーシップの醸成を目的にQOL（Quality of Life）の向上をテーマとして、10年後の自分がどのようなサービスを必要としているかを考え、イノベーション創出の方法を考えるアイデアソンを開催。

大学の取組　アントレプレナーシップ醸成のためのイベント開催

▶東北大学ビジネスプランコンテストvol.4

東北大学と仙台市、中小企業基盤整備機構、東北大学ベンチャーパートナーズが連携し、KDDIや第一生命、NTTデータ、七十七銀行等の協賛・協力のもと、東北大学の学生・研究者を対象に独自のビジネスプランについてピッチ（プレゼンテーション）を行い、起業家や投資家等のプロの目による審査により競い合う機会を提供。応募22件の中から9件をファイナリストとして選抜し、最優秀賞は、高橋佑生さん（工学部４年）の「メガネ型姿勢矯正IoTアプリケーション　inte-glass（インテグラス）の研究開発および販売事業」に決定。70万円が事業化資金として贈呈された。
また、前年度優勝者のピッチや若手起業家3社名によるパネルディスカッションも実施。

参加者265名

▶東北大学スタートアップカフェ

独創的な研究成果を次々と生み出す研究者、スタートアップ業界の第一線で活躍するOB・OG、起業を目指す情熱を持つ教職員・学生、そしてそれらを支援する学内外の支援関係者同士がよりカジュアルに交流できる場として、「東北大学スタートアップカフェ」を開催。
東北大学発ベンチャーが登壇し、事業内容や目指すゴール等を語る「最新の東北大学発ベンチャーの動向」や支援者・投資家等による「最新のスタートアップ業界の動向」に関するパネルディスカッションを実施。

参加者634名

今後、新産業創出や地域活性化が求められる中で、社会変革の原動力となるスタートアップの創出とアントレプレナーシップ育成が必須

2020年10月29日に スタートアップ・ユニバーシティ宣言 を行い、以下の取り組みを実施

1 ベンチャー創出支援パッケージ 創設

東北大学版EIR（住み込み起業家）、学生アクセラファンド、
東北大学スタートアップ・アルムナイ創設

2 広域的な大学発ベンチャーファンド 設立

同時に東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会を設立

**東北地域の持続的な経済活性化
高度人材定着化の促進**

大学の取組　東北6県＋新潟県を対象エリアとした広域スタートアップ・エコシステムの形成 【再掲】

SENDAI STARTUP ECOSYSTEM

東北広域エリアを対象とした産学官のプログラムの連携を強化しスタートアップ・エコシステムの形成を加速

- 2020年10月にTHVP-２号ファンドを設立
  主な投資先を本学をはじめとした東北の国立大学発ベンチャーに拡大

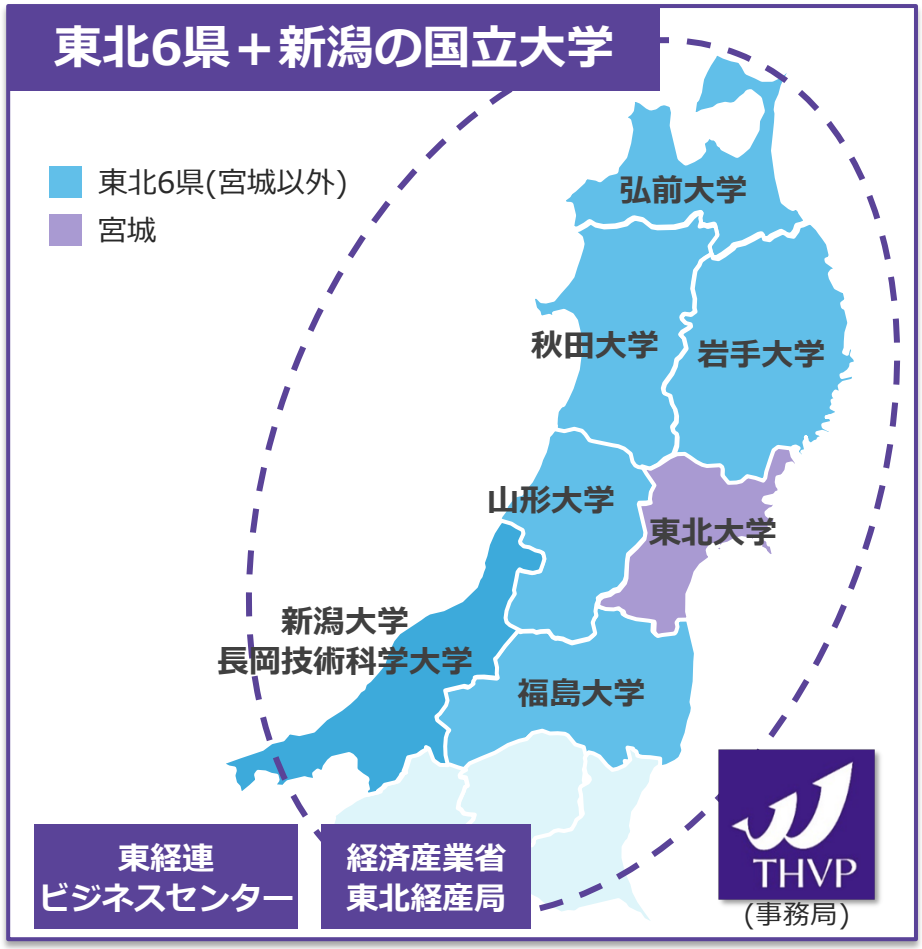
  これまで３社に投資実行し、うち１社は**弘前大学関連ベンチャー「Epigeneron」**（エピジェネロン、東京））

- 東北大学が構築したシームレスなベンチャー支援の経験を新潟を含めた東北７県の大学に共有する**東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会**を設立（2021年2月）

  科学技術振興機構の新産業創出プログラム（JST-SCORE）を活用しベンチャーを創出
  （2021年3月採択：1年間　2.2億円）

※科学技術振興機構＜社会還元加速プログラム（ＳＣＯＲＥ）大学推進型（拠点都市環境整備型）＞人材の育成とスタートアップ創出取組への環境整備支援費

東北地域ベンチャー支援エコシステム連絡協議会



青森県　秋田県　岩手県　山形県　宮城県　福島県　新潟県

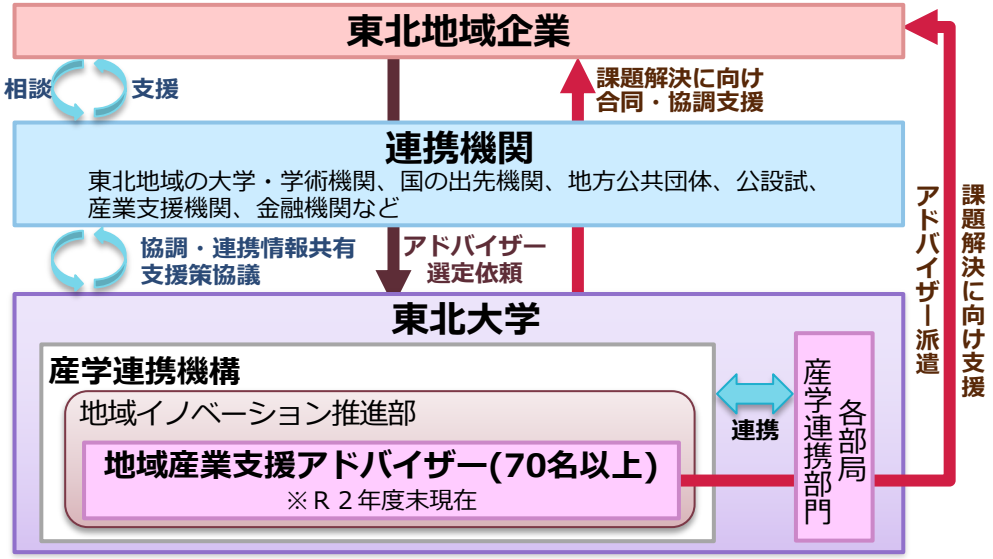
産業界
金融機関
関係省庁
地公体等

大学の取組　地域産業支援アドバイザー制度 【再掲】

東北地域内企業が立地する地域の「連携機関」※と協力・協調しながら、東北大学の専門分野の教員・研究者が地域企業の技術・経営課題の解決に向け支援する制度

※「連携機関」：東北地域の大学・学術機関、国の出先機関、地方公共団体、公設試、産業支援機関、金融機関など

- 企業等の顧客が日頃から関係の深い「連携機関」を通じての相談体制を整備することで、相談しやすい環境を創出し、スムーズで的確な連携が可能
- 幅広い分野の教員70名以上から構成される地域産業支援アドバイザーによる、研究開発・ものづくりから人材育成・街づくりなど多様な課題を支援



198件の工学系、農業系、水産業系、人材育成等多岐にわたる支援を実施

(学術指導や共同研究契約 29件 、助成事業採択支援 10件)

:令和2年度実績

○**主な支援事例**

企業名	支援内容
木材加工業者Ａ社	テラヘルツ波による分析からの製造条件最適化
光学部品研磨業B社	研磨プロセスにおける洗浄工程の効率化提案
ガラス・プラスティック部品製造C社	MEMS技術活用しての微小光学部品製作支援
電子部品製造業D社	ナノ界面評価技術を活用したSi加工工程改善
塗料製造業E社	ナノ粒子技術活用による製品改良・用途拡大支援
業務用機器製造業G社	デザイン思考による新製品企画創出支援
水産加工業F社	**海水温変動に強いワカメ育苗・畜養条件の探索**
リサイクル業H社	テラヘルツ波を使用した繊維種鑑別支援
ビル管理メンテナンス会社I社	心理学手法による労働者の評価ツール開発支援
地方公共団体Ｊ市	**健康福祉・産学連携分野で広く連携**

海水温変動による海藻類不漁に対応するための共同研究

水産加工品の製造販売
農学研究科 :青木准教授
連携機関：金融機関

ワカメ畜養設備での育苗・畜養条件(海水温、照射光量等)と育成の相関どり、改良提案

地方公共団体における政策課題支援

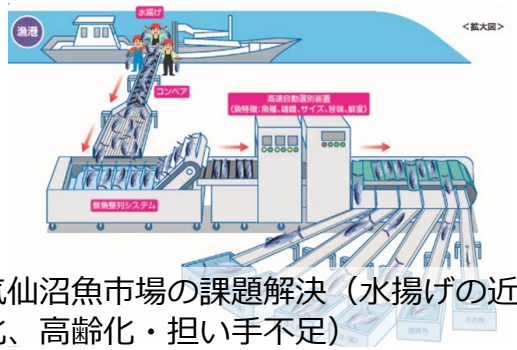
地方公共団体
公共政策大学院:橋本教授
連携機関：横手市

横手市／公共政策大学院の連携協定締結をサポート、健康福祉・産学連携など広く連携。

仙台市と東北大学が連携し、大学の研究成果を活用した地域課題解決のプロジェクトを多数組成・実装

IIS研究センターの10年間の活動成果：79件のプロジェクト形成、28億円超の競争的資金獲得、31億円超の地域企業新規売上、124名の地域企業新規雇用、8企業誘致

事例１：カツオの自動選別機



気仙沼魚市場の課題解決（水揚げの近代化、高齢化・担い手不足）

事例２：魚の雌雄判別機

超音波エコー画像を用いた魚の雌雄判定

事例３：ホタテの自動ウロ取り機

水産加工への画像処理技術とロボット処理適用

東北大学IIS研究センター
令和元年度「情報化促進貢献個人等表彰」
「経済産業大臣賞」受賞（2019.10.11）

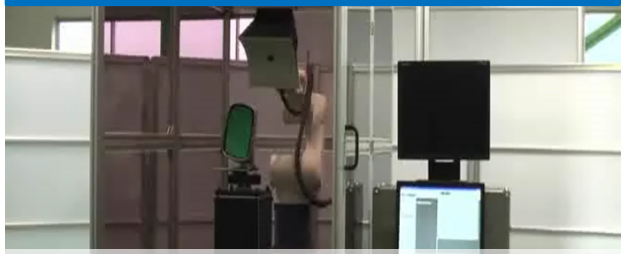
事例４：画像AIを活用した自動判定

取引価格の異なるサバ種の自動選別装置

事例５：農業分野での実証

分光イメージングによる糖度判定

事例６：外観検査用産業用ロボット



外観検査用産業用ロボットを高度化する画像処理組込みソフトウェアの開発

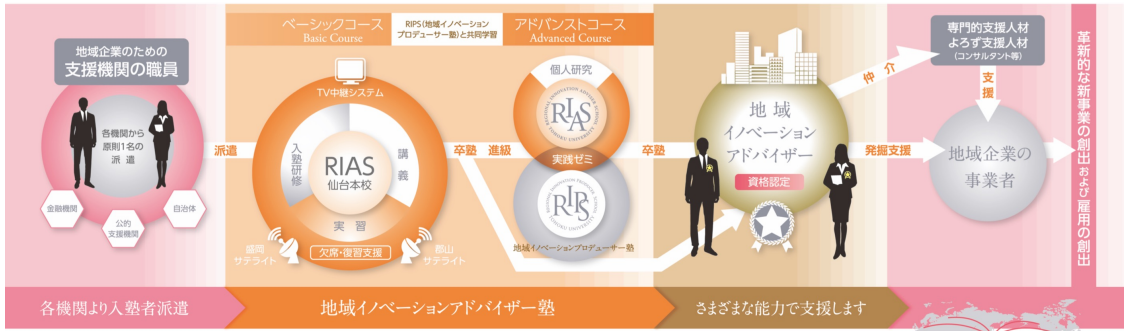
地域イノベーションプロデューサー塾 (RIPS)

- 地域企業の経営人材を対象に、革新的なイノベーションによる新事業の開発を促進し、地域における新たな雇用機会の創出と産業振興に貢献できる革新的プロデューサーを育成

RIPS卒塾生			
2012年度	11名	2017年度	33名
2013年度	35名	2018年度	30名
2014年度	29名	2019年度	29名
2015年度	26名	2020年度	21名
2016年度	41名	**9期で255名が卒塾**	

地域イノベーションアドバイザー塾 (RIAS)

- 地域企業の経営者の目線で事業革新を支援するパートナーとなるため、企業経営と事業革新に関する体系的な知識や支援に必要な実践的なスキルなどを学習する機会を提供

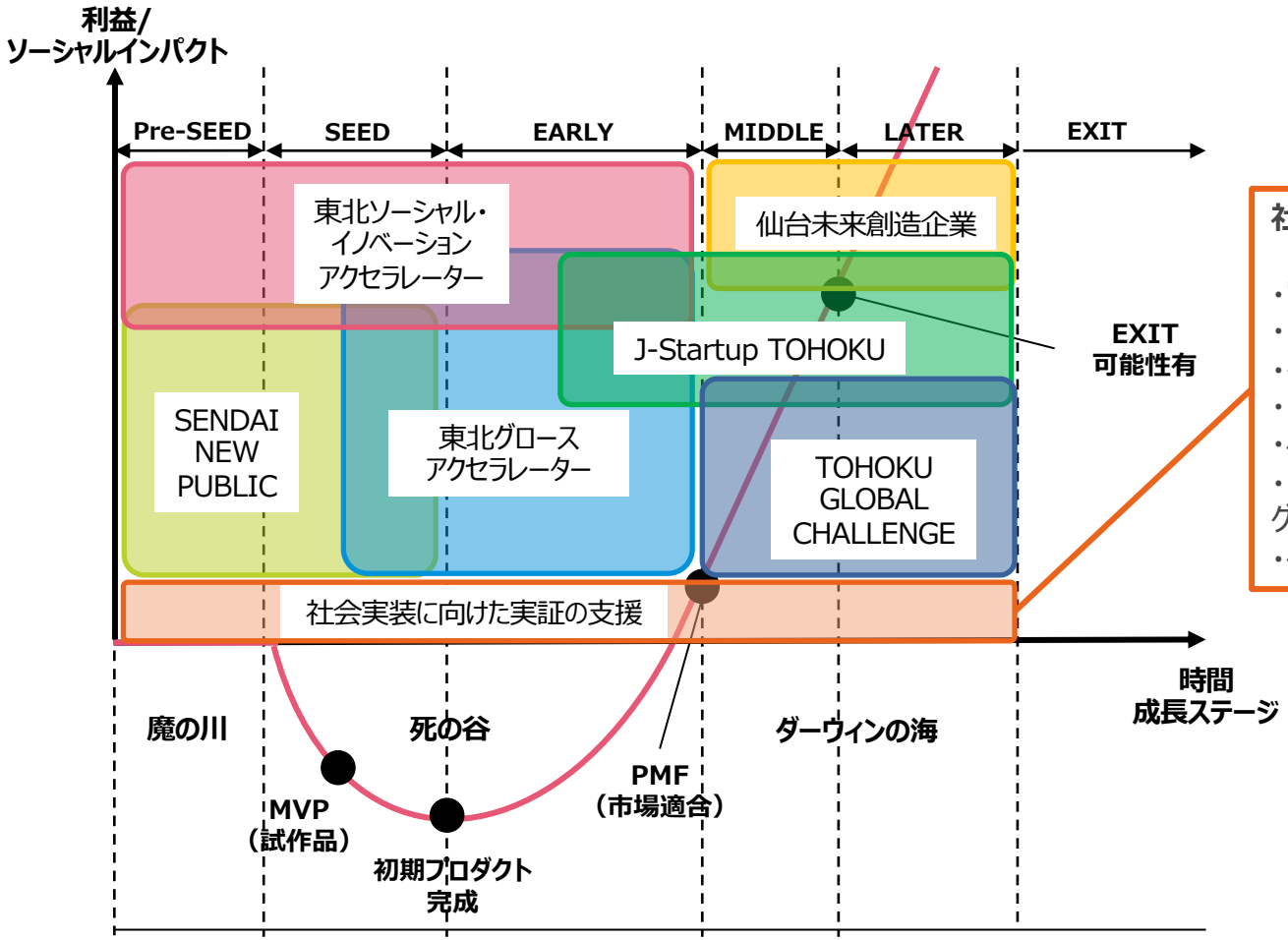


RIAS卒塾生	
2015年度	25名
2016年度	32名
2017年度	28名
2018年度	27名
2019年度	22名
2020年度	22名

6期で156名が卒塾

地方自治体の取り組み（仙台市等）

地方自治体・公的支援機関の取組　スタートアップ支援主要事業一覧



社会実装に向けた実証の支援

・宮城県スタートアップ加速化支援事業
・国家戦略特区/近未来技術実証特区
・クロス・センダイ・ラボ
・Urban Innovation Sendai
・ヘルステック推進事業
・ BOSAI-TECHイノベーション創出プログラム
・仙台市×東北大学スーパーシティ構想

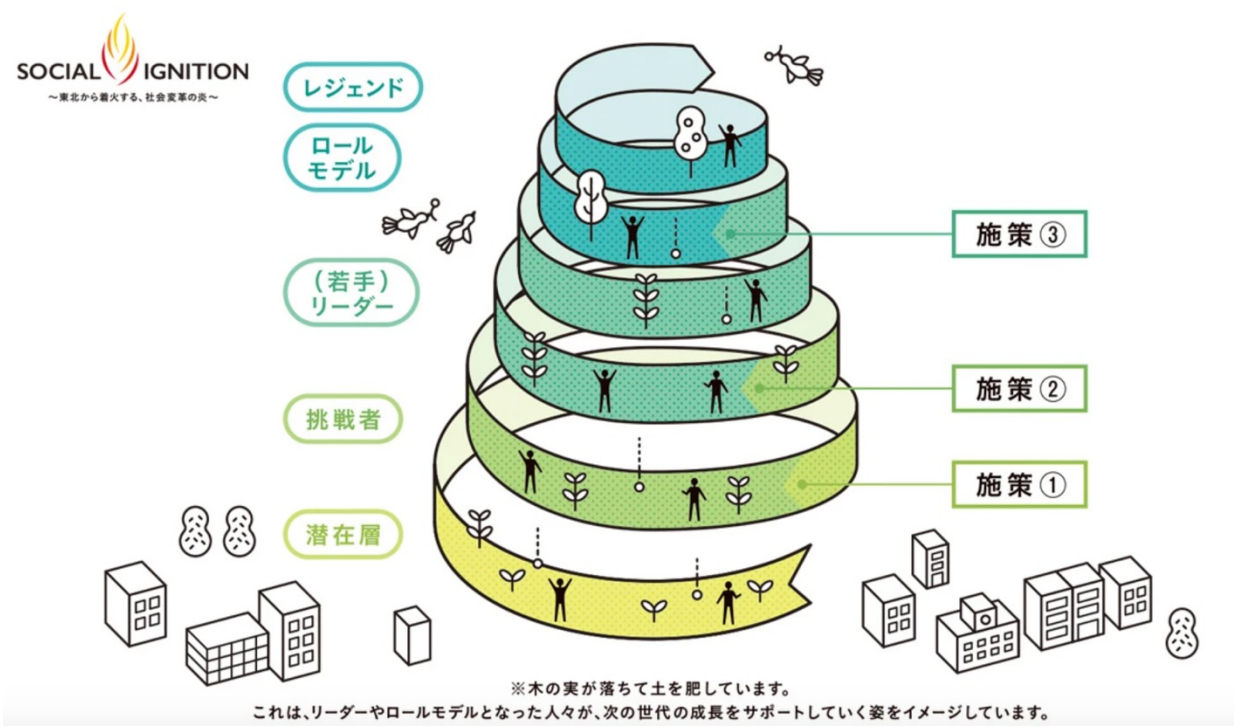
魔の川
研究ステージと製品化に向けた開発ステージの間に存在する障壁。
研究を研究だけで終わらせないようにするためには、技術シーズを市場ニーズに結び付け、具体的なターゲット製品を構想する知恵が必要とされる。

死の谷
開発ステージと事業化ステージの間に存在する障壁。
商品を製造・販売して売上にまでつなげていくためには、資金や人材などの経営資源を適切に調達することが必要とされる。

ダーウィンの海
事業化ステージと産業化ステージの間に存在する障壁。
事業を成功させるためには、競争優位性を構築し、多くのライバル企業との生き残り競争に勝つことが必要とされる。

東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター（2017～）

仙台市とINTILAQ東北イノベーションセンターが主催し、東北地域の自治体や大企業と連携し、社会を少しでも良くしていきたいという思いを、社会起業に関するセミナー、ワークショップ、6ヶ月程度の個別集中支援プログラム等を実施することにより、Vision/Missionという形で言語化し、メンターが伴走しながら持続可能な形で事業計画を作成。**「Vision」「そこまでの道筋」「社会インパクト」を明確化**し、実現可能性を高めていくプログラムを通じて、**社会起業人材を連続的に輩出し、社会起業家のエコシステム（生態系）を構築**する。
2017年から4年間でソーシャル・イノベーター48名を創出・育成。



“SOCIAL IGNITION”事業の全体像
今後の地域を担う人材やイノベーションを起こす人材を育て、着火し、持続可能な東北地域を目指す。

地方自治体・公的支援機関の取組　ソーシャル・イノベーター育成・支援　採択者①

2017プログラム採択者のビジネスプラン

・障害児向けデイサービス事業
・生産者と農家をつなぐプラットフォーム
・農業を通じた地域コミュニティの再生
・低出生体重児向けベビー服
・都市公園の再生
・キャリアカウンセリング事業
・スポーツを中心とした心の教育事業
・オーダーメイド型医療・介護事業
・ICTを活用した教育事業
・貧困家庭の子どもの放課後ケア事業
・がんサバイバー向け写真撮影事業
・参加型リノベーション事業

2018プログラム採択者のビジネスプラン
（解決したい社会課題）

・中年期の不摂生が原因による寝たきりや認知機能低下者の増加
・学生時代のキャリアを考える経験及び就活情報の地域間格差
・地域住民が気付かないことによる地域価値の衰退
・産前産後女性へのワークライフ支援の不足
・地域の将来を担う若者の不足
・医療者間の情報共有不足による患者の不利益や医療費増大など医療現場で起こる諸課題
・精神疾患の特性と雇用形態のミスマッチ
・子供の自己肯定感の低い現状
・不登校になる発達障害児の増加と保護者へのサポート体制の希薄
・認知症介護
・障がい者や家族が抱える不安感・孤独感
・マイノリティとマジョリティの相互理解の欠如

地方自治体・公的支援機関の取組　ソーシャル・イノベーター育成・支援　採択者②

2019プログラム採択者のビジネスプラン（解決したい社会課題）

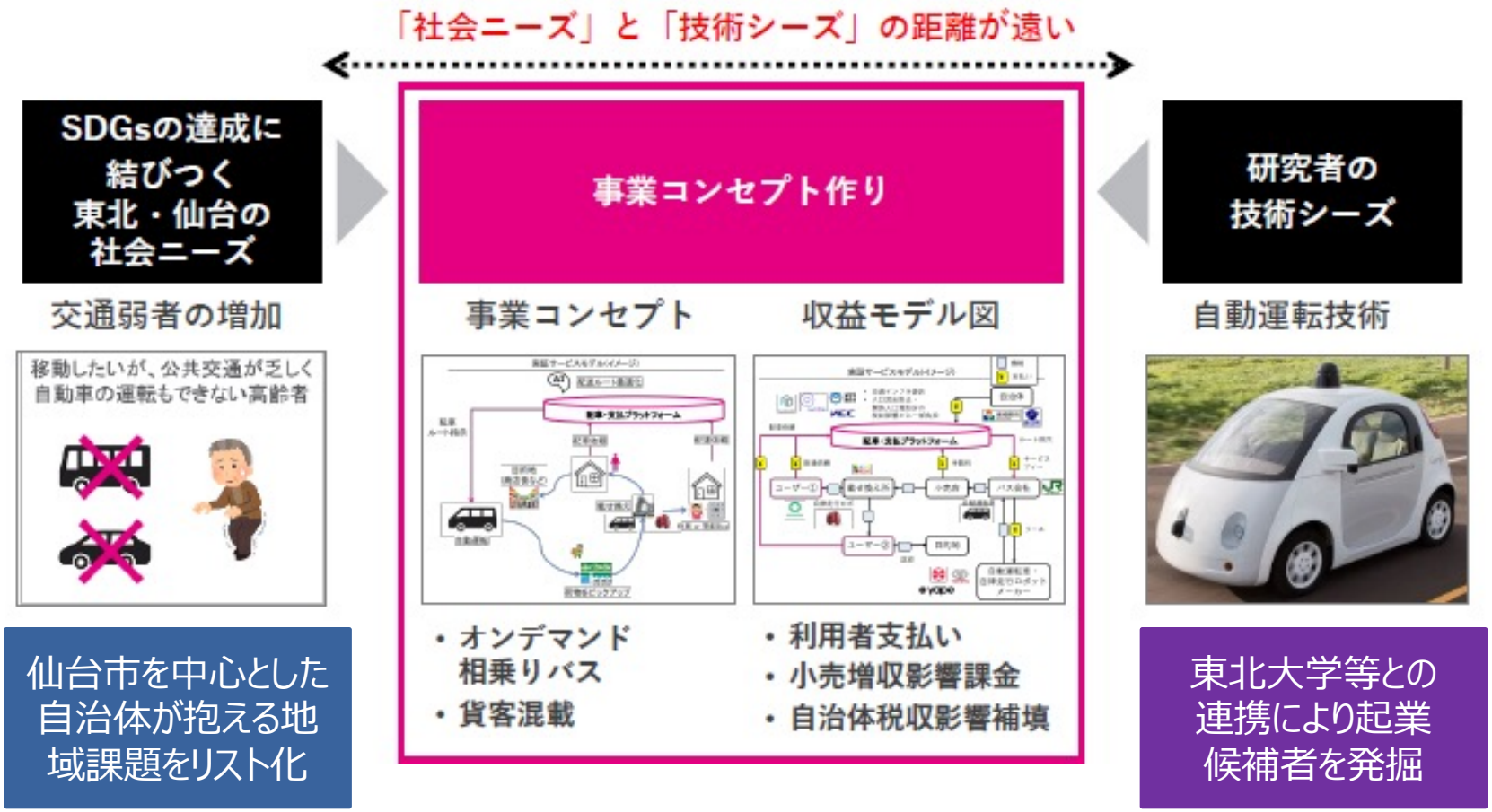
・障害を抱える人が力を発揮できない社会
・学校問題を理由に命を絶つ子どもたちがいる現状
・農家の自信と誇りの喪失
・子どもの個性や可能性が育まれない社会
・保育士の人材不足、社会的地位の低さ
・バーチャル化が進む世界で主体性やリアルを失うこと
・女性の社会進出の遅れ、単身女性・シングルマザーの貧困。ICT人材の不足
・不登校の子どもに居場所がないこと
・障碍者への差別と偏見。障害福祉の人材不足。
・女性の労働人口率と所得の低さ
・温暖化の解決を遅らせる格差・貧困
・岩手の将来を担う人材の流出

2020プログラム採択者のビジネスプラン（解決したい社会課題）

・衰退する伝統的工芸の技術承継、障害者への差別、偏見
・不登校につながる教室環境と大人の関わり方
・理解しあわないことから、経済活性化の機会が失われていること
・地方都市中心市街地の衰退
・社会課題へ関心をもち行動する人材の不足
・忙しさから日々の【ありがとう】を感じにくいこと
・母親の子育て負担。地方の子育てや教育の選択肢の少なさ
・地域への自信が失われ、町の活気も失われていること
・一定の価値観に捉われず自他を容認し心の交流にあふれた関係性を築けないこと
・高校生が将来をワクワク考えられていないこと
・“他人事・見ないふり”を生み出し、いのちをなくし続けている防災の形。

SENDAI NEW PUBLIC（2020～）

仙台市とサムライインキュベート、東北大学が連携し、SDGsの達成につながる東北・仙台の社会課題ニーズと、起業候補者となる研究者の持つ技術シーズを結び付ける事業コンセプト作りを集中支援。SENDAI NEW PUBLICにより、仙台市起点にした**東北6県＋北海道/新潟**のエリアから、**SDGs達成を目指したDeepTechシーズの事業育成の仕組みを構築**する。



東北大学の研究者を中心に8名を採択し、起業に向けた事業アイデアのブラッシュアップや企業とのマッチング支援、実証実験に向けた調整等を実施。起業前の採択者6名については研究成果等を活用したビジネスモデルの構築ができ、起業準備段階へ進展。起業済みの採択者2名については、事業展開にあたっての課題の洗い出し、ターゲットの再検討を行い、仮説検証のための実証実験を実施。

グラフェンを利用したスポンジ状ポーラス材料の実用化

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY

西原 洋知　教授
東北大学 材料科学高等研究所/
多元物質科学研究所

「AIによる高精度放射線治療計画の品質・安全性検証システム」のプロトタイプ開発

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY

角谷 倫之　助教
東北大学病院 放射線治療科

ナノ型乳酸菌ライブラリを活用した事業化検証

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY

菅野 恵美　准教授
所属：東北大学大学院医学系研究科
看護アセスメント学分野

高精度次世代DNA分析による品種・個体・産地・種識別技術

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY

松尾 歩　助教
東北大学大学院農学研究科

超軽量リハビリ装具脳卒中患者の歩行改善

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY

大脇 大　准教授
東北大学 大学院工学研究科・工学部
ロボティクス専攻

エネルギー節減に寄与するマイクロ波事業化検証

産総研

西岡 将輝　上級主任研究員
所属：国立研究開発法人　産業技術
総合研究所　化学プロセス研究部門

患者に強い痛みを伴う従来の狭窄治療の改善

Crane Vascular

梶山 愛　代表取締役
クレインバスキュラー株式会社

東北大学発

口腔~全身の健康に貢献する歯垢/歯石検査ライト

HAPPY

小山 昭則　代表取締役
歯っぴー株式会社

東北グロースアクセラレーター（2017～）

仙台市とゼロワンブースター、仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会、大企業や支援者が連携し、東北に集積する様々なリソースを活用して社会を変えるような革新的なプロダクトの創出に挑戦するスタートアップまたは新規事業に挑戦する中小企業を支援する集中支援プログラムを実施。**ロールモデルとなる企業を輩出**し、本市が実施するその他の起業支援施策とともに、**東北のスタートアップ・エコシステムの構築**を図り、**東北から国内外の課題解決に資するイノベーションが持続的に創出される環境を構築**する。

▶TGA2021の実施内容と主な成果

オンライン説明会を実施。プログラムの概要説明に加え、過年度採択企業から参加メリット等を説明。東北の支援者によりセッションも複数実施し、東北の支援環境情報を発信。

事業の成長に必要なマインドセットや知識を学ぶレクチャーを実施。
採択者それぞれの事業ステージ、課題に応じたメンタリングを実施し、企業等とのマッチングをサポート。

SENDAI for Startups!2021

起業家応援イベント「SENDAI for Startups!」内でネットワーク作りやPR・資金調達などを目的としたプレゼンテーションを行い、マッチングツールを活用しネットワーキングを促進。

参加者数：約860名

事前説明会	審査・選抜	個別メンタリング レクチャー 支援者・企業等とのマッチング	成果発表会 DEMO DAY
参加者： 265名	採択者： 10チーム	企業等とのマッチング： 111件（前年比1.2倍）	企業等との協業： 17件（前年比1.5倍）
		資金調達額： 1億9,580万円（前年比1.2倍）	

地方自治体・公的支援機関の取組　東北グロースアクセラレーター2020採択チーム

SSS合同会社
小田 恭央 氏
（宮城県仙台市）
口の動きから音声を作り出す『読唇』音声合成の作成

輝翠TECH
鉄槙 兀東 氏、タミル・ブルーム 氏
（宮城県仙台市）
Smart Farming with AI Robotics

株式会社ノースブル
菅原 紀 氏
（宮城県仙台市）
高度な技術で日本の畜産経営に幸せを

ダブルフロンティア株式会社
八木橋 裕 氏
（東京都）
日本発の地域密着型お買い物代行サービス「ツイディ（twidy）」

一般社団法人宮城インバウンドDMO
斎藤 良太 氏
（宮城県丸森町）
仙台市を実証実験フィールドとしたEdtech新規事業

情報整備局
和田 晃司 氏
（福島県須賀川市）
消防団のためのICTソリューションアプリ

Frich株式会社
田口 昂哉 氏
（東京都）
災害に備えた互助プラットフォームの構築

株式会社FireTech
渡邊 玲央 氏
（東京都）
救急対策支援サービス/ChildShell

株式会社ElavationSpace
小林 稜平 氏
（宮城県仙台市）
宇宙工場による高付加価値材料製造

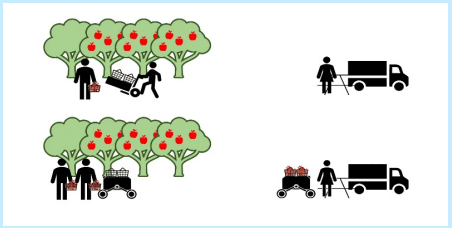
株式会社Catalu JAPAN
吉本 正 氏
（東京都）
体験型ECを活用した、首都圏の旅行代理店での東北製品の展示販売とモノからコト（旅行）の誘導

プログラムを通じて学生スタートアップ2社誕生

東北大学発

株式会社ElevationSpace
人工衛星内で実験や製造等を行うことのできる小型宇宙利用・回収プラットフォーム ELS-Rの開発

東北大学発



輝翠TECH
月面探査ローバーの技術を活用した農業の省力化・自動化のためのAI農業用ロボットの開発

株式会社ElevationSpace（約525万円）　資金調達

輝翠TECH（約61万円）　資金調達

※さらに2021年7月にVC等から3,000万円の資金調達

※令和3年度宮城県スタートアップ加速化支援事業に採択（補助額250万円）

資金調達

Frich株式会社（1億2,000万円）

資金調達

ICJ Inclusion Japan

ICJ Inclusion Japan 2号ファンド

SSS合同会社（約1,364万円）

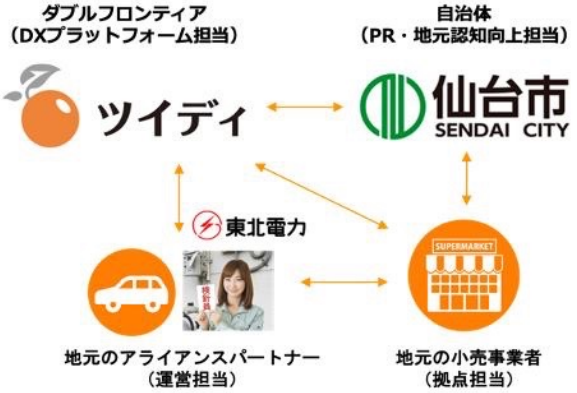
資金調達

事業提携

ダブルフロンティア株式会社

オープンイノベーション

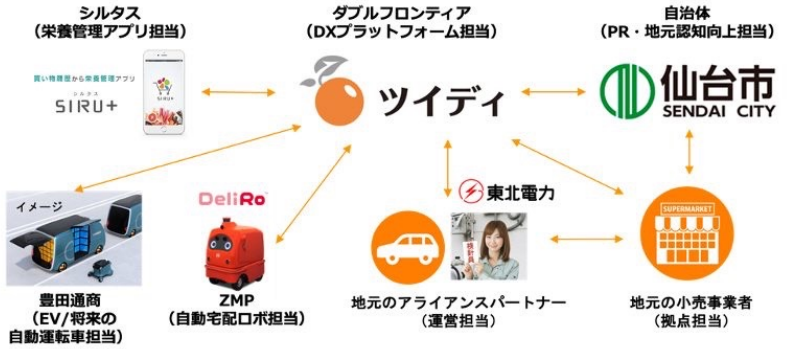
ウジエスーパー、仙台中央タクシーと提携



ダブルフロンティア株式会社

オープンイノベーション

仙台市×東北大学スーパーシティ構想参画事業者に採択



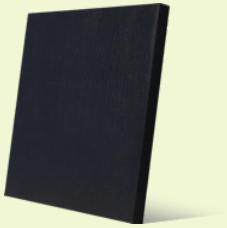
地方自治体・公的支援機関の取組　宮城県スタートアップ加速化支援事業

▶地域課題の解決を目指すスタートアップ、第二創業や事業承継型創業を行う事業者に対して資金を補助。
2020年度は一般枠：100万円×20件、AI・IoT枠：250万円×5件を採択

【採択企業】 ※抜粋

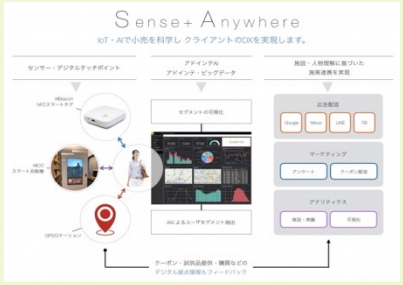
オープンイノベーション

Musignal



株式会社Musignal
「音」で社会を変える、ニーズに適合
SIZZLE PANEL新規MODEL開発

オープンイノベーション



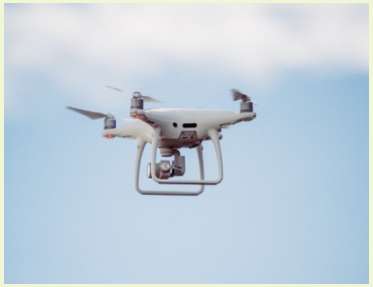
ZORSE

ZORSE株式会社
顧客管理システム構築や顧客データの活用で販売促進の最適解を導き提供する(OMO)

東北大学発

weCAN_

株式会社 weCAN
情報機器利用時の姿勢矯正IoTアプリケーションの研究開発及び販売事業



スカイAI株式会社
農業用ドローンに関するワンストップサービス

地方自治体・公的支援機関の取組　起業家応援イベントSENDAI for Startups!

起業を啓発・促進し、起業家同士の交流を深める地方最大の起業家応援イベントを開催。2013年に80名でスタートしたイベントが徐々に参加人数を増やし、3,000名以上が参加する地方最大級の起業イベントに成長。東北でチャレンジする人を応援する「TGA Festival」、「SENDAI SOCIAL INNOVATION SUMMIT」、「DA-TE APPS!」の3つのイベントで構成し、オンラインとオフラインのハイブリッド型で3日間開催。

サマリー動画（2020）

リアル参加者：313名＋オンライン視聴者：2,879名　合計：3,192名

東北中の起業家が集まり・深化し・つながる場

SENDAI STARTUP ECOSYSTEM

仙台特区
Social Innovation SENDAI

大胆な規制緩和と豊富な実証フィールドを組み合わせ、仙台・東北から世界を変えるソーシャル・イノベーションを

仙台市は全国10区域の1つに選ばれており、
「社会起業」「女性活躍」「近未来技術実証」「医療」「公共空間利活用」の5分野で取り組みを進めている。

社会起業支援	○ NPO法人設立手続き期間短縮 ○ 雇用労働相談センターの設置 ○ スタートアップビザによる外国人起業支援 ○ 一般社団法人等への信用保証制度の適用 ○ 人材流動化施設の設置 ○ 国家公務員退職手当の特例 ○ テレワーク推進センターの設置 ○ スタートアップビザの事業所確保要件の緩和
女性活躍	○ 地域限定保育士試験の実施 ○ 都市公園内への保育所設置
エリアマネジメント	○ エリアマネジメントに係る道路法の特例
医　療	○ 保険外併用療養の特例の活用 ○ 特区医療機器薬事戦略相談の活用 ○ 革新的な医薬品の開発迅速化 ○ オンライン服薬指導の実施
その他	○ 国家戦略特区版 エンジェル税制
近未来技術実証	○ 近未来技術実証ワンストップセンターの設置

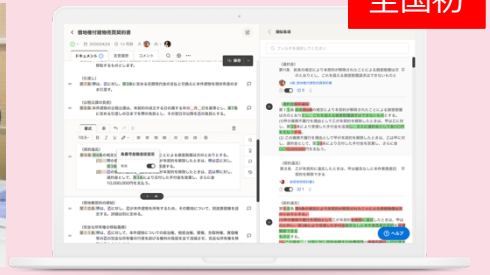
地方自治体・公的支援機関の取組　実証フィールド提供 / 社会実装支援

▶クロス・センダイ・ラボ
国家戦略特区の活用や仙台市との連携を円滑化する公民連携窓口「クロス・センダイ・ラボ」、「東北グロースアクセラレーター」を中心にして、実証実験等を希望するスタートアップの取り組みをサポート。仙台市への進出支援や起業家人材・スタートアップ企業の流入・集積、オープンイノベーションの促進、近未来技術の活用による社会課題の解決につなげる。
企業からの提案の実現に向け庁内関係各所との調整を行い以下の実証実験を連携して実施。　※抜粋

▶株式会社バカン（東京都千代田区）
リアルタイム空き情報配信プラットフォーム「VACAN（バカン）」を活用し、風水害発生時にインターネットで避難所の混雑状況などの情報提供を行い、避難者の分散避難を促進

▶株式会社ミューシグナル（宮城県仙台市）
新型コロナウイルス感染症対策としてマスクの着用やパーテーションの設置により窓口対応で生じている声の聞き取りにくさを解消するためのモバイルスピーカーを活用した実証実験実施

全国初



▶株式会社日本法務システム研究所（東京都文京区）
AIを活用した就業規則チェックシステムを用いて、厚生労働省が作成したモデル就業規則との自動比較や関連法令の改定の反映などを行うことにより、相談・審査業務の省人化実現

東北大学発

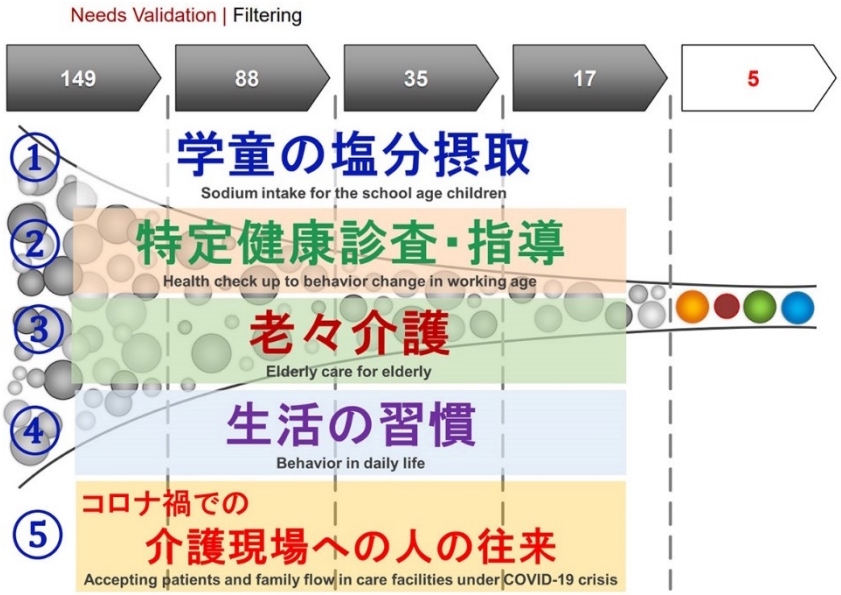
▶株式会社シグマアイ（東京都港区）
新型コロナウイルス感染症に関するコールセンターにおいて、相談を受け付けるオペレーターの負担軽減を図り、相談者に最適な医療機関を速やかに案内できる支援ツール「whis+（ウィズプラス）」を導入

▶Urban Innovation Japan / Urban Innovation Sendai

神戸市コミュニティリンクと仙台市が連携し、仙台市が抱える２件の課題を公募。9件の応募の中から1件を採択し、「起業支援オンラインイベントでの参加者同士のマッチング活性化」について起業家応援イベント「SENDAI for Startups!2021」等において実証実験を実施。イベントでは84件のビジネスマッチングを創出し、**新型コロナウイルス感染症によりオンラインイベントが中心となる中での効果的なマッチング手法について課題解決策の検討を行った。**

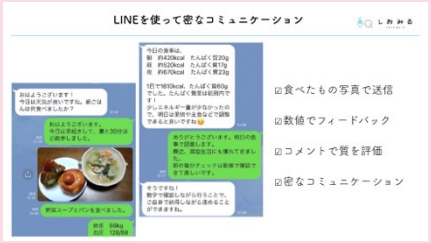
【Urban Innovation Sendai採択企業】
▶株式会社Kakedas（東京都渋谷区）
性格診断等に基づき最適な相手をマッチングするオンラインマッチングサービス「Machico」

2020年度はフィリップス、東北大学、仙台市が連携し、東北大学病院が仙台市の健康データを分析し抽出した5つの課題に対して10社が解決アイデアを提案し、製品開発のセミナーや専門家の助言、課題を抱える現場へのヒアリング等を通じて事業化に向けた取り組みを実施。
「ヘルスケア×IT」をキーワードに**医療現場やヘルスケア領域の課題解決を目指す「ヘルステック産業の振興」と「ヘルステック人材の育成」**に取り組み、仙台・東北から日本、**世界へ向けた事業展開を推進**。



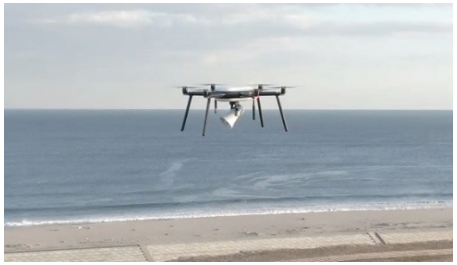
三日坊主防止アプリ みんチャレ

▶エーテンラボ株式会社（東京都渋谷区）
習慣化アプリ「みんチャレ」を通じた糖尿病患者の生活改善や高齢者のフレイル予防などの効果検証を実施



▶株式会社ORANGE kitchen（東京都渋谷区）
・人工透析予防特化型プログラムや飲酒習慣是正プログラムなど、行動変容・生活習慣改善を目的としたオンラインによる寄り添い方の保険事業を実施

仙台市とスカイライトコンサルティングが主催し、ノキア、味の素、東北電力、コープ東北、NEC、東北大学災害科学研究所、MAKOTOキャピタル等のパートナー企業やサポーター企業等として参画。
仙台・東北における**BOSAI-TECHイノベーション・エコシステムの形成**を目指し、**新たな防災関連事業の創出支援**を目的とするプログラム。「防災×IT」をテーマに新規事業を生み出そうという意欲をもつ事業者を募集し、防災に関する課題意識をもつ企業とつなぎ、事業化を推進。



・2020年度は国内の多数の応募の中から7社を選出し支援を実施。
・Regional Business Conference 2020とも連動してプログラムを展開し、仙台市沿岸部や福島ロボットテストフィールドと連携した事業化支援を実施。
・国内9社が防災や減災分野で課題を提示し、解決策を持つ国内外の企業をマッチング。海外企業とは東京海上日動やNTTドコモなど4社がマッチング。海外からは17ヶ国37社がエントリーし、9社を選抜。うち5件で商品化に向けた具体的な協議を行っている。

スーパーシティ型国家戦略特区へ提案。大胆な規制緩和を行うとともに、複数分野のデータ連携と先端的なサービス提供により未来の生活を先行して実現するまるごと未来都市を目指す。

市民×大学×ビジネス（C-U-B: Citizen-University-Business）による協働

仙台では、復興の10年間で地域社会と科学技術の交点が急速に拡大
①地域防災→国際的災害科学研究→”BOSAI”が世界用語へ（世界防災フォーラム）
②地域医療→東北メディカル・メガバンク計画→未来型医療の拠点づくりへ
③産学官連携→次世代放射光計画→新産業創造（10年で1.9兆円規模）へ

スーパーシティ仙台により、都市のトランスフォーメーションを先導、東北全域へ展開
東京一極集中に対する多核連携の拠点機能を形成

総勢31事業者が参画

都市の環境・繋がりの状況

都市の環境・繋がりの状況　仙台スタートアップ・エコシステムマップ

SENDAI STARTUP ECOSYSTEM

産学官金の多様な人材が集積し交流する機能を持つスタートアップ拠点や研究開発拠点がコンパクトな市内中心部半径5km圏内に集積

▶スタートアップ支援の中心となる施設・場（公的施設）
①仙台市起業支援センター　アシ☆スタ（（公財）仙台市産業振興事業団）
②東北大学連携ビジネスインキュベータ
③東北大学スタートアップガレージ
④（公財）みやぎ産業振興機構
⑤仙台商工会議所

▶スタートアップ支援の中心となる施設・場（民間施設）
①INTILAQ東北イノベーションセンター
②enspace
③スマートイノベーションラボ仙台
④NTT東日本仙台中央ビル（2023～）

▶地域で活躍するVC、アクセラレーター
①MAKOTOキャピタル
②IMPACT Foundation Japan
③七十七キャピタル
④東北大学ベンチャーパートナーズ
⑤EO North Japan

▶大学・研究機関
①東北大学片平キャンパス
②東北大学青葉山キャンパス
③東北大学星陵キャンパス
④東北学院大学　土樋キャンパス
⑤東北学院大学　五橋キャンパス（2023～）
⑥国立研究開発法人情報通信研究機構
　ネットワーク研究所・レジリエントICT研究センター
⑦次世代放射光施設（2023年～）

▶シェアオフィス・コワーキングスペース
①cocolin
②STUDIO080
③THE6
④TRUNK
⑤WeWork JR仙台イーストゲートビル
⑥ZITEKI BASE
⑦ソシラボ
⑧Five Bridge
⑨TAGE Community
⑩シェアオフィスURL
⑪Neo Breakthrough Sendai
⑫M-LABEL

ウイズコロナ、アフターコロナを考慮した拠点形成

ウイズコロナ、アフターコロナを考慮した拠点形成、グローバル

新型コロナウイルス感染症の影響により、特にKPIに掲げる「企業との協業」「グローバル協業」「外国人起業家支援」について大きな影響を受けており、地域内でのビジネスマッチングの促進やオンラインを活用した交流機会の提供、留学生の起業支援、新型コロナウイルス感染症で顕在化した課題に対する提案を募集し公共調達を促進するなど、ウィズコロナを念頭に置いた支援施策を模索している。

▶クロス・センダイ・ラボ
新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化した庁内の課題について提案を募集。30件以上の提案の中から実証に向けた調整を行い、3件について実証実験・導入につなげる。

▶X-TECHイノベーション推進事業（X-TECH INNOVATION Project）
ITを活用し、仙台からニューノーマル時代の新たなビジネスを創出することを目指し「エンターテイメント」、「スポーツ」、「飲食店」の3つのテーマで地域企業との協業による社会実装を目指すプログラムを実施。
9チームの中から、楽天イーグルスとのプロジェクトに3チームが採択、ベガルタ仙台とのプロジェクトに1チームが採択、ハミングバードとのプロジェクトに1チームが採択となり実証実験を開始。

▶【再掲】グローバルスタートアップ創出・育成事業（東北グロースアクセラレーター）
ウィズコロナの社会の変化を踏まえたイノベーションの創出を目指すスタートアップを支援。10者を採択。

▶【再掲】先端テクノロジーを活用したSDGsスタートアップ創出プログラム（SDGsアクセラレーター）
大学の研究成果等を活用し、社会課題の解決を目指す起業家・起業家予備軍を育成。8者を採択。

▶【再掲】ソーシャル・イノベーター育成・支援（東北ソーシャル・イノベーションアクセラレーター）
新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化した社会課題に対して挑戦する社会起業家を育成。12者を採択。

ウイズコロナ、アフターコロナを考慮した拠点形成、グローバル

新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化する課題の解決に向けた提案の募集

- ICTを活用した避難所の感染防止対策及び効果的な避難所管理
- 自転車利活用の推進
- 「杜の都のきほん体操」及び「杜の都のおトク体操」の活用（健康寿命）
- 「せんだいウォーキングマップ」の活用（メタボ対策）
- フードドライブの推進
- ワンウェイプラスチックをはじめとするプラスチックを中心とした家庭ごみ削減（リサイクル含む）
- 「119番通報は“住所”から！」の広報・啓発
- 研修、会議、イベント等の新しいスタイル
- 「新しい生活様式」を踏まえた施策の普及啓発

ウイズコロナ、アフターコロナを考慮した拠点形成、グローバル

【海外展開支援】
▶新型コロナウイルス感染症の影響で展示会出展等を中止しオンラインを中心に連携プログラムを実施
①欧米（フィンランド共和国オウル市）
・ピッチイベント「Polar Bear Pitching」日本代表スタートアップ企業とフィンランド企業との協業をオウル市の産業支援機関「BusinessOulu」と連携して実施。
・BusinessOuluが支援するスタートアップ企業4社の日本進出を支援するため、ビジネスマッチングの機会を提供。
・海外展開を進めるスタートアップ企業に対して協業先となる現地のスタートアップ企業を紹介。

②欧米（ルクセンブルク）
・海外展開を進めるスタートアップ企業に対して大使館を通じて協業先情報の収集を支援。
・ルクセンブルク大使館が実施するマッチングイベントに1社参加。

③アジア・中等・アフリカ：実績なし（担当者等との定期的な情報交換を実施）

【情報発信】
▶海外への情報発信のため「STARTUP GUIDE JAPAN（福岡、京都、大阪、仙台、東京）」にスタートアップ支援に積極的な都市として仙台市長のメッセージ、仙台のスタートアップ企業7社のインタビュー、支援プログラム、起業拠点、大学、ファンドの情報を掲載。

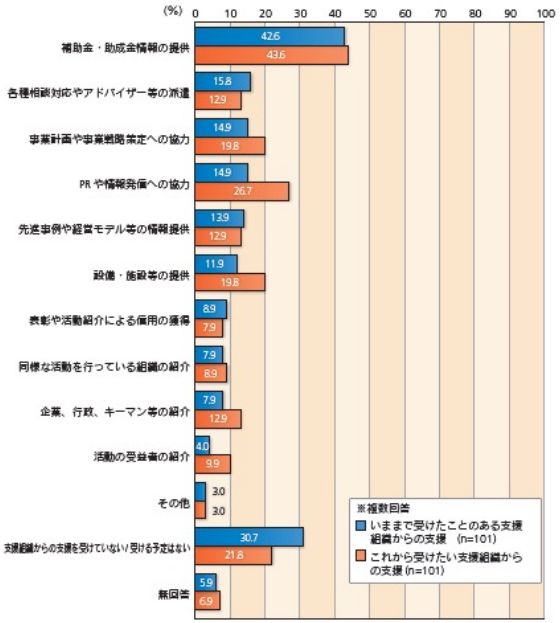
▶IGNITE SENDAI 2020：
新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催。
参加者約200名
https://www.ignitesendai.com/conference2020

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会
令和3年度活動計画について

事業案①　**スタートアップの創出・育成に向けた環境整備のための施策検討**

仙台・東北地域におけるスタートアップの創出や成長の促進、他地域からの流入と集積を加速させるために必要な要素について、課題やニーズを有するスタートアップに対するヒアリングを実施し、具体の施策に結び付けるため、引き続き勉強会、意見交換会、事務連絡会議を開催し、支援施策の検討を進める。
また、スタートアップの課題やニーズに基づき、必要に応じて国への要望活動や施策提案等を行う。

スタートアップの課題抽出アンケート調査実施



参考：東北活性化研究センター 社会課題解決にかかる活動の現状と課題に関するアンケート

勉強会・意見交換会・事務連絡会議を通じて速やかに施策展開につなげる

先進事例を分析する勉強会

施策展開への意見交換会

スタートアップのニーズ分析

支援施策実施

事業案② スタートアップ支援事業の連携強化

協議会会員が実施するスタートアップ支援事業のうち、連携可能な事業について、広報協力や共同開催、メンター派遣、スタートアップ企業支援に積極的な地域の企業経営者・アドバイザー等によるアドバイザリーボードを創設し、様々なアドバイスやビジネスマッチング等を行う。会員のイベント等については全て協議会の名義後援を行う。

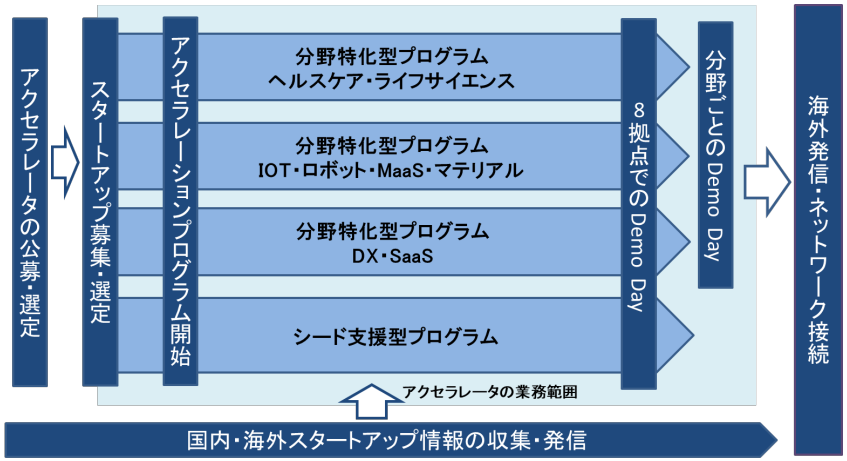
令和3年度支援計画における横連携の可能性のある事業一覧表

団体名（順不同）	連携可能性	事業名	概要・開催時期	実施にあたって困っていること、協力して欲しいこと	ホームページURL	担当者連絡先
東北大学	○	「東北大学ビジネスプランコンテストvol.5」開催	概要：東北大学生の全学共通ビジネスコンテスト 開催時期：令和3年12月18日	・イベントの周知・広報	（7月下旬オープン予定）	委託先：㈱MAKOTOキャピタル 石川、小山田 メール：capital@mkto.org
	○	「東北・イスラエルスタートアップ グローバルチャレンジプログラム」共催	概要：イスラエルの専門家・起業家がレクチャー・メンタリングを実施することで、東北スタートアップ企業のレベルアップを図る。 開催時期：令和3年7月～令和４年3月開催予定	・名義共催ならびに、プログラムでのデモデイ集客 ・スポンサー金の募集 ・来年度以降の運営方法	https://tohoku-israel.com/	㈱MAKOTOキャピタル 福留 メール：capital@mkto.org
	○	「第12回東北大学スタートアップカフェ」開催	概要：スタートアップの第一線で活躍するイノベーターとの交流イベント 開催時期：令和3年10月21日（予定）	・イベントの周知・広報	https://www.tusg.jp/event/startupcafe（12回案内は9月中旬予定）	委託先：㈱MAKOTOキャピタル 石川 メール：capital@mkto.org
	○	地域ギャップファンドの展開	概要：地域の起業化を支援するギャップファンド（助成金プログラム）の企画・実施 開催時期：通年	・プログラム設計・企画、運営 ・ビジネスマッチングの機会提供（地域企業との協業など）	準備中	東北大学産学連携機構事業イノベーションセンター　石倉、佐藤 メール： shinya.ishikura.e4@tohoku.ac.jp
	○	地域産業支援アドバイザー制度	概要：支援機関から申し込みを受けて、地域企業の課題解決支援に大学が参画する制度。大学の研究者との面談（3回程度）から、共同研究や連携した競争資金獲得による本格的な事業支援も伴走 開催時期：通年	・企業様のニーズの発掘。地域企業様のお困りごとを教えてください。 ・各支援機関様とカスタマイズした体制構築も可能です	https://www.rpip.tohoku.ac.jp/jp/inf	東北大学産学連携機構地域イノベーション推進部　上島 メール： atsushi.uejima.e5@tohoku.ac.jp
	○	地域イノベーション研究センター（RIPS/RIAS塾）	概要：地域イノベーションを推進するため、経営者向け（RIPS塾）、支援者向け（RIAS塾）を実施。2021年度から大学履修証明プログラムに認定 開催時期：ベーシックコース6月～10月　、アドバンストコース秋以降	塾生派遣、紹介	https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/	東北大学産学連携機構企画室　遠藤 メール： noriko.endo.d3@tohoku.ac.jp
	○	IIS研究センター（企業のIoT活用による新たなビジネス構築支援）	概要：企業のニーズ（特にICT、AI活用等による新たなビジネス志向）に対し、企業出身の特任教授らが、協力企業と連携して課題解決を提案していく。主なテーマは①人手不足・技術の伝承、②ニーズに応える技術、③画像、AI,ロボット技術を応用等 実施時期：通年	課題をお持ちの企業紹介 課題解決提案側への企業参加	http://web.tohoku.ac.jp/iisrc/	東北大学産学連携機構企画室　遠藤 メール： noriko.endo.d3@tohoku.ac.jp
東北経済連合会	○	「東北産学官金サロン」（年4回開催）での大学発ベンチャー企業とVC、地銀等とのマッチング機会の創出	令和3年度中			
仙台経済同友会	○	起業支援委員会によるスタートアップ・エコシステム推進協議会参加団体の協業	令和3年度中			

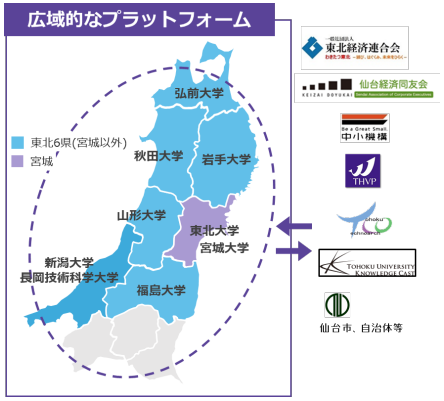
事業案③　国等が実施するプログラムの積極的活用

国や企業、様々な支援団体等が実施する支援プログラムへのスタートアップ企業の推薦やイベントの共同開催、事前ブラッシュアップ、他地域との連携・協働等を実施し、仙台・東北地域のスタートアップ企業に対する機会提供を行う。

案：内閣府拠点都市向けアクセラレーションプログラムへの推薦
拠点都市への支援プログラムとして、分野別に特化したアクセラレーションプログラムを実施。スタートアップのグローバル展開を支援。



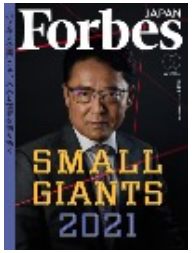
案：JST－SCOREの活用
科学技術振興機構の新産業創出プログラム拠点都市環境整備型（R2年度補正JST-SCORE）を活用し、東北圏の大学の研究成果の事業化を支援し、大学発ベンチャー創出を加速中。
R3年度JSTスタートアップ・エコシステム形成支援事業に申請中。



①ギャップファンド
（1件につき500万円以内を助成）
②起業家育成プログラムを運営する指導・支援人材の育成
③起業環境の整備
④プラットフォーム内外のエコシステムの形成

参考：JST-SCORE

案：Forbs JAPAN スモールジャイアンツアワードへの推薦
東北地域の推薦団体として連携



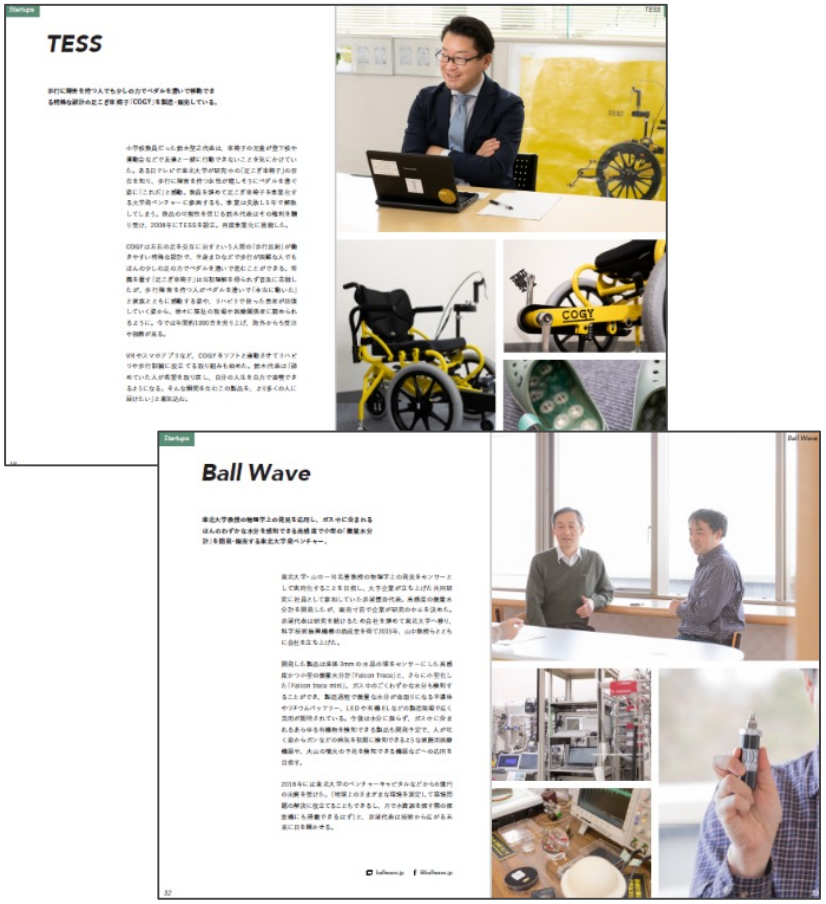
案：総務省「起業家甲子園・起業家万博」への協力
東北地区大会の開催へ協力（発掘、事前アドバイス等）

事業案④　ブランドづくりに向けた情報発信強化

仙台・東北地域のスタートアップ文化の醸成・市民理解の向上・ブランドづくりのためメディア等との連携を強化し、スタートアップ企業情報の発信や、首都圏等で開催されるイベント等と連携した支援情報発信を行う。

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会ホームページ

仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会Facebookページ



スタートアップへのインタビューの実施（参考：SEDNAI STARTUP BOOK）